

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ともだちひろば にんな (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 19日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年 11月 19日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に丁寧な対応ができてきていること	・開所当時から5領域を網羅した支援を行なってきた。 ・集団の中での獲得が難しいことに対応する。 ・人と比べずに、自分のできることを積み重ねる中で自信をつけていくこと。	・職員のスキルアップのための研修や研鑽。 ・チームワークを高めながら真心込めて支援することを忘れないよう、理念や指針を確かめ合う機会を作る。
2	保護者を巻き込んだ支援をしていること	・いつでも話ができる環境を作る。 ・支援の様子を見てもらい子育てのヒントにしてもらう。 ・毎年利用者アンケートを実施し、希望や困っていることなどを把握、支援に役立てている。	・家族会の企画・実行により、ペアレントトレーニングや交流を図る。
3	地域連携	・開所当時より、保健師さん、園、相談員、他事業所などと連絡を取り合うことに心がけてきた。 ・必要があれば直接の園連携を行っている。 ・インフォーマルな地域の資源（習い事など）に繋ぐ。	・地域の情報収集 ・移行のための連携

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間が短いので、生活にじっくり関わることができない	園生活を中心にしてあまり穴を空けないよう週1回1時間スタイルをとっている。	今後も1時間の指導の中に、生活スキル獲得への取り組みを実践する。
2	休みが入ると2週間、3週間と間が空き、積み重ねたものが後退することがある	体調不良や園の行事などでお休みが入るのは致し方ないところ。	休みが続いた時は、他の児童の休みなどの空き時間を利用して来てもらうよう声掛けする。
3	大きな行事をする余裕がない	指導員は、日々の勤務時間を支援と準備、記録と振り返り、会議などに使っていっぱい。管理する者も、支援計画に関わる仕事、職員への指導、利用者対応、外部会議への参加、行政への提出物対応、年間にこなさなければならないことの計画・管理など、しなければならぬことがたくさんありすぎて大きな行事に手がまわらない。	いずれ余裕ができた時に考える。

職員から出たその他の事業所の強み

- ・コミュニケーションが円滑（対利用者+職員同士）
- ・一辺倒でないこと（柔軟に変化を続けている）
- ・家族への支援が丁寧に行われている
- ・長い目で見て（将来像を見据えて）考えていること
- ・居場所になっていること（修了後も訪ねて来られたり、相談が持ち掛けられたりする）
- ・直接支援だけでなく手厚い支援（転園の援助、習い事の紹介や連携など）
- ・園と直接連携を行い、アフターフォローもしている